

「景観に関する市民意識調査」の  
結果について

2022年11月

佐賀市

## 調査の結果（全体集計）

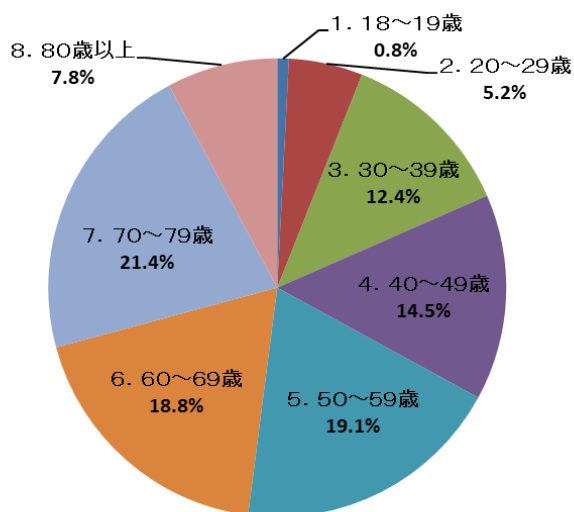
### 1. 回収率

	全体	内 訳	
		郵送（無作為抽出）	e さがモニター
対象者数	3060 人	2000 人	1060 人
回収者数	613 人	454 人	159 人
回収率	20%	23%	15%

### 2. 回答者の属性

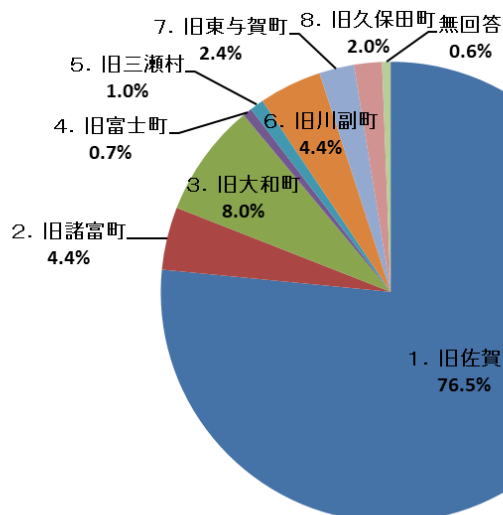
#### (1) 年齢

回答者の年齢は、「70代」が21.4%、「60代」の18.8%、「50代」の19.1%と、50代以上の回答率が高くなっている。



#### (2) 居住地域

回答者の居住地域は、「旧佐賀市」が7割以上を占め、続いて「旧大和町」の8.0%、「旧川副町」と「旧諸富町」の4.4%となっている。

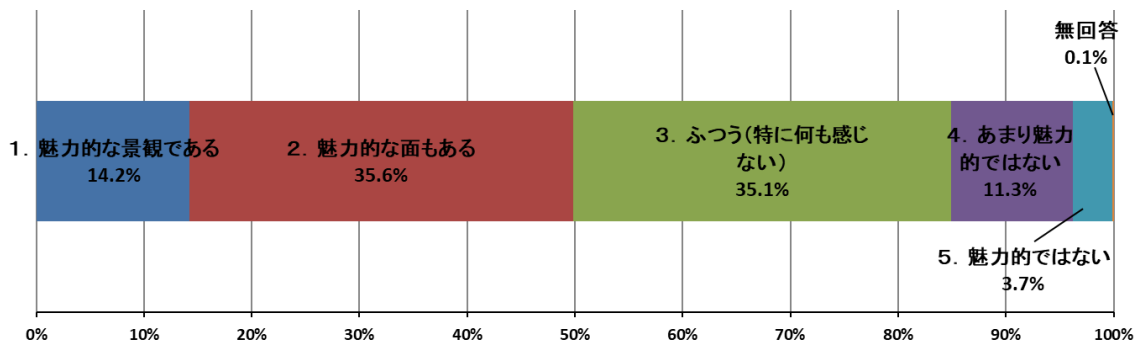


### 3. 佐賀市の景観について

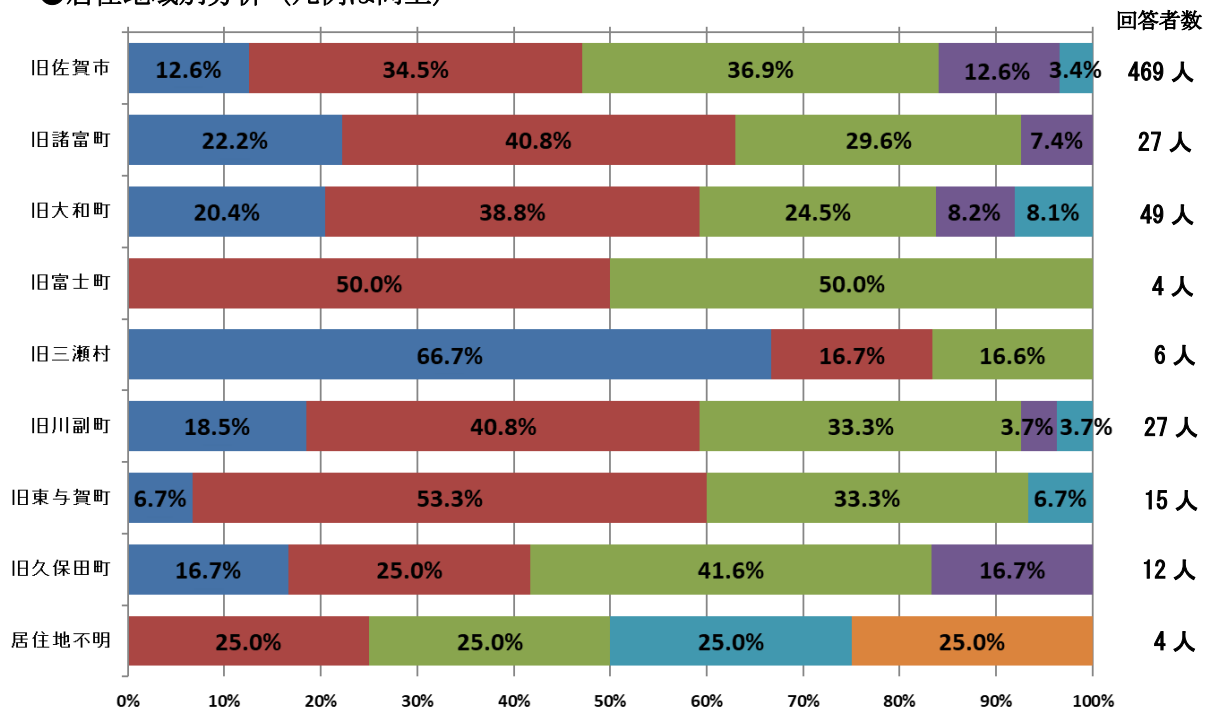
(問2) あなたがお住まいになっている地域の身近な景観をどのように思いますか。あてはまる番号を1つお選びください。

1. 魅力的な景観である
2. 魅力的な面もある
3. ふつう(特に何も感じない)
4. あまり魅力的ではない
5. 魅力的ではない

地域の身近な景観は、「魅力的な景観である」と「魅力的な面もある」を合わせた割合が約5割(49.8%)となっており、多くの人々が好意的にみていることがわかる。一方で、魅力的に感じない人も一定程度(「あまり魅力的ではない」と「魅力的ではない」の合計:15.0%)存在していることもわかる。



#### ●居住地域別分析(凡例は同上)



(問3) 問2で1、2(魅力的)または4、5(魅力的ではない)と答えた方にお尋ねします。「魅力的」あるいは「魅力的ではない」と感じる景観について、具体的な場所や対象物をご記入ください。

□魅力的な場所や対象物

田園風景・佐賀平野(48)、城内周辺(県庁、図書館、美術館、博物館、お堀・蓮、桜、本丸)(43)、多布施川沿い・並木(20)、どん3の森周辺(市立図書館、アバンセ)(14)、自然(13)、神社・寺(伊勢神社、北面天満宮、護国神社、白髭神社、与賀神社、佐嘉神社、鍋島町若宮神社、與止日女神社、実相院、万寿寺)(12)、山(9)、川上峡・官人橋周辺(9)、脊振山系・天山山系・筑紫山脈(8)、徐福サイクルロード・桜並木(8)、有明海(7)、森林公園(7)、長崎街道・のこぎり型まちなみ(7)、昇開橋・筑後川(7)、樹木・桜・緑(7)、クリーク(6)、朝日・夕日(6)、高い建物が少ない(5)、河川(5)、街路樹・並木(5)、公園(5)、柳町(5)、SAGA サンライズパーク(5)、四季を感じられる(5)、住宅・庭(5)、整備されたまちなみ・道路(5)、多布施川(4)、松原川沿い(4)、バルーン(4)、神野公園(4)、歴史的建造物・史跡(4)、嘉瀬川河川敷(3)、シチメンソウ(3)、店・病院(3)、巨石パーク(3)、多布施川河畔公園(2)、金立山(2)、干潟(2)、構口公園(2)、ライトファンタジー(2)、漁港(筑後川・早津江川)(2)、石井樋周辺(2)、近代的文化・施設(2)、嘉瀬川(1)、大溝川(1)、本庄江川(1)、河川敷(1)、江頭西渕線のイチョウ並木(1)、天祐寺川の桜(1)、諸富公園東側のしだれ桜(1)、西与賀小周辺の桜並木(1)、開成地区の花菖蒲(1)、蓮池公園の花菖蒲(1)、空港公園のコスモス(1)、北山湖周辺(1)、お地藏さん(1)、旧枝梅酒造周辺(1)、旧古賀家等(1)、ギャラリー喫茶喫(1)、坂田賛化堂書店(1)、蛍(1)、金立公園(1)、徐福長寿館(1)、金立憩いの広場からみた夜景(1)、空港大橋からの眺め(1)、高橋(1)、広い駐車場(1)、高層ビル(1)、清潔感のある建物(1)、佐賀駅(1)、大学(1)、学校・校庭(1)、佐賀清和学園通り(1)、まちなかの緑の広場(1)、ひょうたん島公園(1)、夢咲公園(1)、とんぼの池公園(1)、中央児童センター(1)、浄土寺の壁画(1)、古湯温泉(1)、シンボルロード偉人像(1)、くすくす(1)、おへそこども園(1)、街灯が多い(1)、バリアフリー化(1)、兵庫のまちなみ(1)、大和町松梅(1)、八田宿の景色(1)、見晴らしが良い(1)、田んぼの中にある家(1)、児童の絵(1)、井川邸(1)、名尾手すき和紙(1)、宅地化による若年層の人口増加(1)、インフラが進んでいる(1)

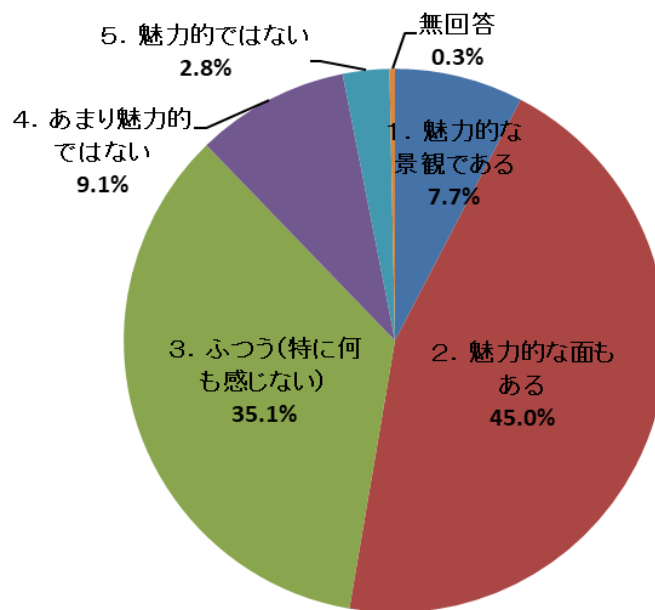
■魅力的でない場所や対象物

河川・クリーク(ヘドロ、草、ゴミ、枯渇)(9)、空き家(7)、狭い道路・歩道(6)、雑草・落ち葉(6)、緑や街路樹が少ない(4)、自然・緑が減った(4)、電柱・電線・鉄塔(4)、何もない(4)、統一感がないまちなみ(3)、管理不十分な公園・広場(3)、シンボルロード(3)、屋外広告物(3)、店舗・会社・観光地が少ない(3)、伐採されたイチョウ並木(2)、手入れ不十分な笹垣・樹木(2)、田んぼ(2)、公園や広場が少ない・狭い(2)、片田江のシャッター通り周辺(2)、古い建物・まちなみ(2)、街灯が少ない(2)、側溝の整備不良(2)、高層の建物(2)、工場(2)、シンボルとなる広場や建造物がない(2)、ごみ(2)、危険な水路(1)、空き店舗(1)、耕作放棄地(1)、道路の工事期間が長い(1)、渋滞する道路(1)、冠水する道路(1)、神野公園(1)、住宅地(1)、佐賀市立野球場周辺(1)、堤防(1)、駅(1)、シンボルロード偉人像(1)、白山(1)、大隈重信記念館(1)、町の中心が分かりづらい(1)、海がない(1)、夜景(1)、夏はヒートアイランド状態(1)、出前が届かない(1)、車がないと不便(1)

(問4) 佐賀市全体の景観をどう思いますか。あてはまる番号を1つお選びください。

1. 魅力的な景観である
2. 魅力的な面もある
3. ふつう（特に何も感じない）
4. あまり魅力的ではない
5. 魅力的ではない

佐賀市全体の景観は、「魅力的な景観である」と「魅力的な面もある」を合わせた割合が5割強（52.7%）となっており、問2「地域の身近な景観」と同様に、好意的にみている人が多いことがわかる。また、佐賀市全体の景観に魅力を感じない人の割合（「あまり魅力的ではない」と「魅力的ではない」の合計）も、1割強（11.9%）にとどまっている。



(問5) 問4で1、2(魅力的)または4、5(魅力的ではない)と答えた方にお尋ねします。「魅力的」あるいは「魅力的ではない」と感じる景観について、具体的な場所や対象物をご記入ください。

□魅力的な場所や対象物

城内周辺(県庁、図書館、美術館、博物館、お堀・蓮、樹木、佐賀城公園、本丸、NHK 新館) (78)、田園風景・佐賀平野(36)、有明海(19)、山(18)、自然(10)、樹木・桜・緑(9)、高い建物が無い(8)、干潟(8)、ダム(富士町のダム・北山ダム・嘉瀬川ダム)(8)、どん3の森・市立図書館周辺(7)、長崎街道(7)、富士町・古湯の温泉(7)、多布施川沿い・桜・並木(6)、神社(興止日女神社・佐嘉神社・松原神社)(6)、整備された道路・まちなみ(6)、北部の山(天山・脊振山地)(5)、柳町(5)、SAGA サンライズパーク(5)、大和(山・川・ツツジ・遊歩道・松梅・川上)(5)、四季を感じられる(5)、河川(4)、恵比寿像・大黒様(4)、川上峡(4)、シンボルロード(4)、ライトファンタジー(4)、大和～富士・三瀬の山間・川・道(4)、きれいなまちなみ(4)、森林公園(3)、クリーク(3)、多布施川(3)、松原川周辺・カップ(3)、街路樹・並木(3)、バルーン(3)、徐福サイクルロード(3)、公園が多い(3)、神野公園(3)、山から海までである(3)、県庁の展望台から見る景色(天山、佐賀平野、有明海等)(3)、自然景観と都市景観(3)、中心部の緑と水の調和・自然(3)、昇開橋(2)、多布施川河畔公園(2)、空港公園(2)、シチメンソウ(2)、店・観光地(2)、歴史的建造物(2)、歴史民俗館・旧古賀銀行(2)、ひがさす(2)、堀江通り(2)、シンボルロード偉人像(2)、無電柱化(2)、空港公園から見る飛行機が飛ぶ様子(2)、堤防・ひがさすからの遠景(2)、三瀬・高原(2)、交通の便が良い(2)、嘉瀬川(1)、嘉瀬川からの夕日(1)、神野地区の川沿い(1)、お濠や川で泳ぐ鯉(1)、北山湖(1)、蓮池公園(1)、干潟よか公園・広場(1)、金立公園コスモス園(1)、開成地区の花菖蒲(1)、江頭西湊線のイチョウ並木(1)、南佐賀から曙橋までの並木・紅葉(大財木原線)(1)、富士町の自然(1)、古湯の紫陽花(1)、松梅のかかし(1)、三重津海軍所跡(1)、川副町の花苔(1)、旧城下町の保たれている景観(1)、道祖元町歴史的建物群(1)、レトロ(1)、田舎(1)、駅(1)、新しい建物(1)、ゆめタウン・兵庫周辺(1)、城内～兵庫地区・大財地区(1)、呉服元町・白山(1)、佐賀大学周辺の通り(1)、片田江交差点～神崎市(国道264号)(1)、住宅(1)、夜景・ライトアップ(1)、奇抜な建物が無い(1)、花みずき(巨勢)(1)、釣りをする子ども達(1)

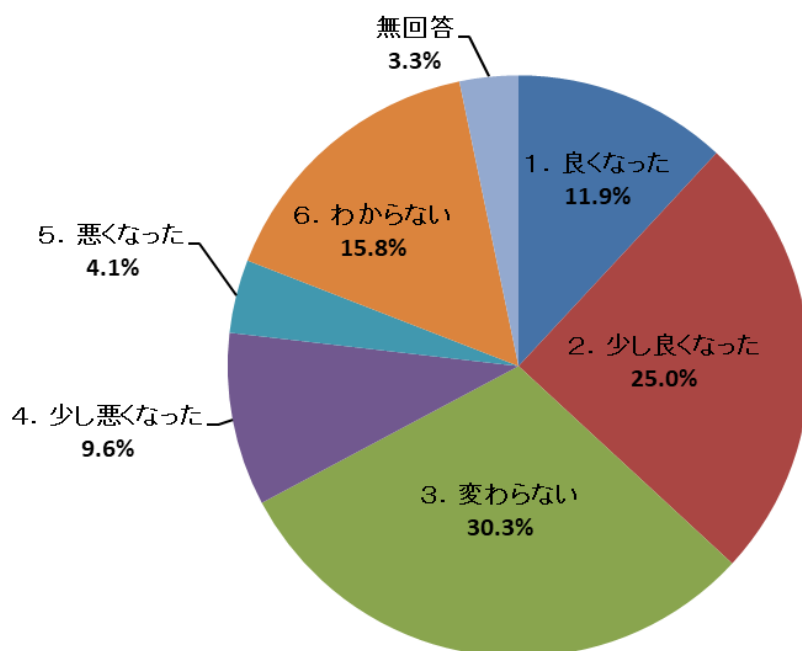
■魅力的でない場所や対象物

空き家(13)、佐賀駅周辺(8)、河川・クリーク(ヘドロ、草、枯渇、壊れた護岸)(5)、統一感がないまちなみ(5)、魅力的な建造物等がない(5)、シンボルロード(5)、雑草・落ち葉(5)、管理不十分な公園(4)、田んぼや樹木が減った(3)、空き店舗(3)、空き地・荒地(3)、片田江のシャッター通り周辺(3)、街路樹の手入れ不足(3)、狭い道路・歩道(2)、古いまちなみ(2)、街灯が少ない(2)、観光地や土産屋が少ない(2)、公園や憩いの場が少ない(2)、屋外広告物(2)、緑が少ない(1)、田んぼ(1)、清掃が行き届いていない(1)、危険な水路(1)、電線(1)、高層の建物(1)、シンボルロード偉人像(2)、まちの開発構想(1)、NHK周辺(1)、県庁舎(1)、図書館(1)、平たいまちなみ(1)、殺風景な通り(1)、古いまちなみの減少(1)、虫が多い(1)、佐賀駅を南北に直進できる道路が欲しい(1)、信号が多い(1)、川副庁舎が残らない(1)、分かりづらい道路(1)、高さ制限により都市化しない(1)、交通の便が悪い(1)、物価が高い(1)

(問6) 佐賀市全体のまちなみや自然の風景は、以前(10年~15年程前)と比べてどうなつたと思いますか。あてはまる番号を1つお選びください。

1. 良くなつた
2. 少し良くなつた
3. 変わらない
4. 少し悪くなつた
5. 悪くなつた
6. わからない

「変わらない」の割合(30.3%)が最も高くなつてゐるが、「良くなつた」と「少し良くなつた」を合わせた割合(36.9%)が「少し悪くなつた」と「悪くなつた」を合わせた割合(13.7%)を20ポイント以上上回つており、佐賀市の景観が以前と比べて良くなつたと感じる人が多い傾向にあることがわかる。



(問7) 問6で1、2 (良くなった) または4、5 (悪くなった) と答えた方にお尋ねします。「良くなった」あるいは「悪くなった」と感じる景観について、具体的な場所や対象物をご記入ください。

□良くなった場所や対象物

城内周辺(県庁、美術館、博物館、お堀、ハス、公園、本丸、鍋島直正公銅像、NHK 新館、アルクス) (41)、整備された道路・まちなみ (38)、佐賀駅周辺 (22)、シンボルロード (9)、無電柱化 (7)、SAGA サンライズパーク (6)、屋外広告物が減った (5)、兵庫周辺(ゆめタウン、ほほえみ館等) (4)、きれいなまちなみ (4)、空き家の撤去 (4)、緑地・広場が増えた (3)、シンボルロード偉人像 (3)、呉服元町(656 広場周辺・わいわいコンテナ・カフェ) (3)、古い建物が新しいものへ変わった (3)、すっきりとしたまちなみ (3)、三溝線 (3)、中心市街地 (3)、商店街が活気づいた (3)、河川 (2)、花畑・花壇が増えた (2)、市立図書館 (2)、長崎街道 (2)、佐賀空港 (2)、ひがさす (2)、三重津海軍所跡 (2)、佐賀大学周辺の道路 (2)、クリーク (1)、多布施川沿い (1)、多布施川 (1)、山林整備 (1)、自然景観 (1)、緑が残っている (1)、干潟 (1)、徐福サイクルロード (1)、柳町 (1)、遺跡保存が進んでいる (1)、旧古賀銀行 (1)、高層ビル (1)、佐賀大学 (1)、宅地化 (1)、大型店舗が増えた (1)、古湯温泉街 (1)、蓮池公園 (1)、若楠公園 (1)、干潟よか公園 (1)、新生町(住宅・道路整備) (1)、堀江通り (1)、古き良きを活かしている (1)、道路沿いの除草 (1)、奇抜な建物が減った (1)、緑と建物のバランス (1)、佐大通り～県庁周辺 (1)、国道 264 号沿い(市街地から 34 号線まで) (1)、県庁北側の道路沿い (1)、紡績通り～堀江通り (1)、大財北島線(どん3の森～北高前) (1)、環状線の沿道景観 (1)、JR 高架下(大財北町) (1)、郊外の色とりどりのまちなみ (1)、全体的な印象 (1)、街並みが整備され、歴史を感じさせる (1)、好生館周辺 (1)、中央病院 (1)、広告物が増えた (1)、デザインマンホール (1)

■悪くなった場所や対象物

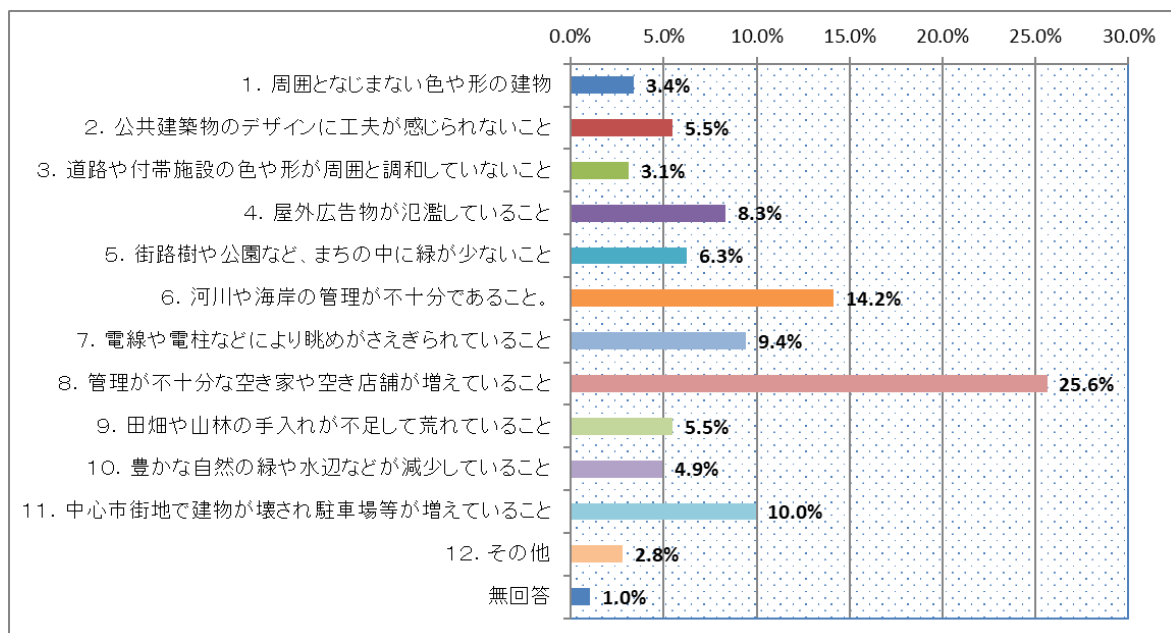
空き家 (16)、人通りがなく淋しいまちなみ・商店街 (12)、自然(緑や田畑)減少 (9)、空き店舗 (8)、河川・クリーク(枯渇、汚い、ゴミ) (7)、開発や宅地化が進み自然が減った (6)、空き地 (5)、高い建物が増えた (5)、無計画な開発・造成 (4)、自然現象により生き物が減った (4)、商業施設や道路整備により昔のまちなみがなくなった (4)、駐車場 (3)、統一感がないまちなみ (2)、公園・広場 (2)、屋外広告物 (2)、シンボルロード偉人像 (2)、アスファルトが増えた (2)、伐採された街路樹 (1)、イチョウの木 (1)、ゴミ (1)、古めかしくなった (1)、歩道がない (1)、蓮池公園 (1)、佐賀駅周辺 (1)、シンボルロード (1)、656 広場 (1)、駅北通り (1)、新栄通り (1)、チェーン店看板による変わり映えしないまちなみ (1)、大規模な道路 (1)、少子高齢化 (1)



(問8) 佐賀市の良さを損ねている景観について、あてはまる番号を3つまでお選びください。

1. 周囲となじまない色や形の建物（一戸建住宅やマンションなど）があること。
2. 公共建築物（学校や庁舎など）のデザインに工夫が感じられないこと。
3. 道路や付帯施設（街灯やガードレールなど）の色や形が周囲と調和していないこと。
4. 屋外広告物（看板、はり紙、広告旗など）が氾濫していること。
5. 街路樹や公園など、まちの中に緑が少ないこと。
6. 河川や海岸の管理が不十分であること。（ゴミ、ヘドロなど）
7. 電線や電柱などにより眺めがさえぎられていること。
8. 管理が不十分な空き家や空き店舗が増えていること。
9. 田畑や山林の手入れが不足して荒れていること。
10. 豊かな自然の緑や水辺などが減少していること。
11. 中心市街地で建物が壊され、駐車場等が増えていること。
12. その他（具体的な内容をお書きください）

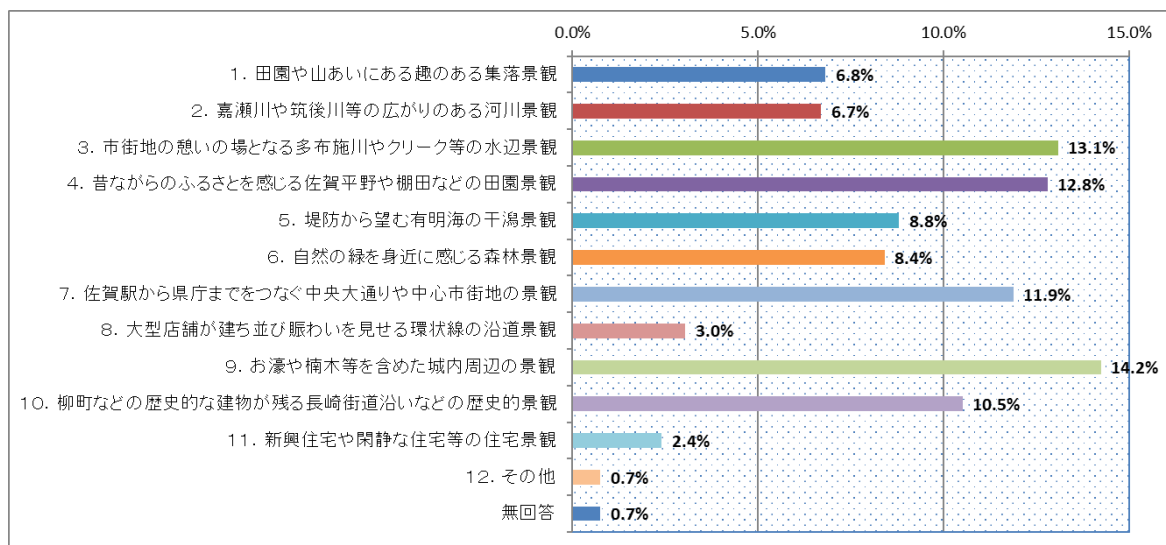
佐賀市の良さを損ねている景観としては、「管理が不十分な空き家や空き店舗が増えていること。」(25.6%)が突出しており、次いで、「河川や海岸の管理が不十分であること。」(14.2%)、「中心市街地で建物が壊され、駐車場等が増えていること。」(10.0%)が続いている。



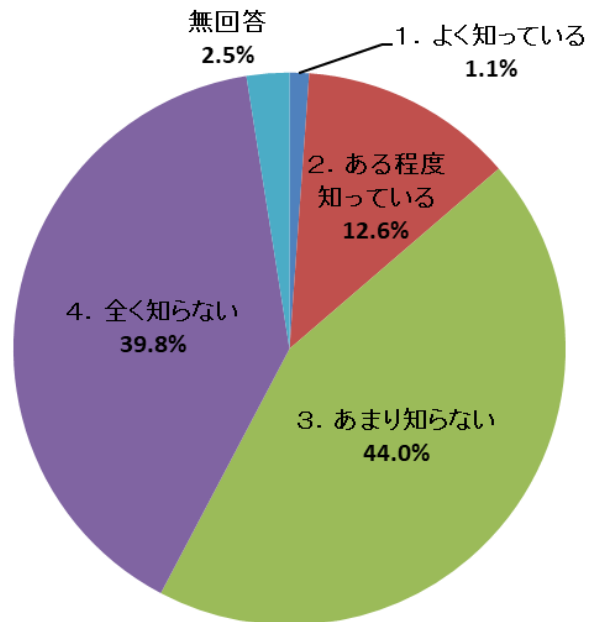
(問9) 佐賀市全体において、今後も守っていくべき景観は何だと思えますか。あてはまる番号を3つまでお選びください。

1. 田園や山あいにある趣のある集落景観
2. 嘉瀬川や筑後川等の広がりのある河川景観
3. 市街地の憩いの場となる多布施川やクリーク等の水辺の景観
4. 昔ながらのふるさと感じる佐賀平野や棚田などの田園景観
5. 堤防から望む有明海の干潟景観
6. 自然の緑を身近に感じる森林景観
7. 佐賀駅から県庁までをつなぐ中央大通りや中心市街地の景観
8. 大型店舗が建ち並び賑わいを見せる環状線の沿道景観
9. お濠や楠木等を含めた城内周辺の景観
10. 柳町など歴史的な建物が残る長崎街道沿いなどの歴史的景観
11. 新興住宅や閑静な住宅等の住宅景観
12. その他（具体的な内容をお書きください）

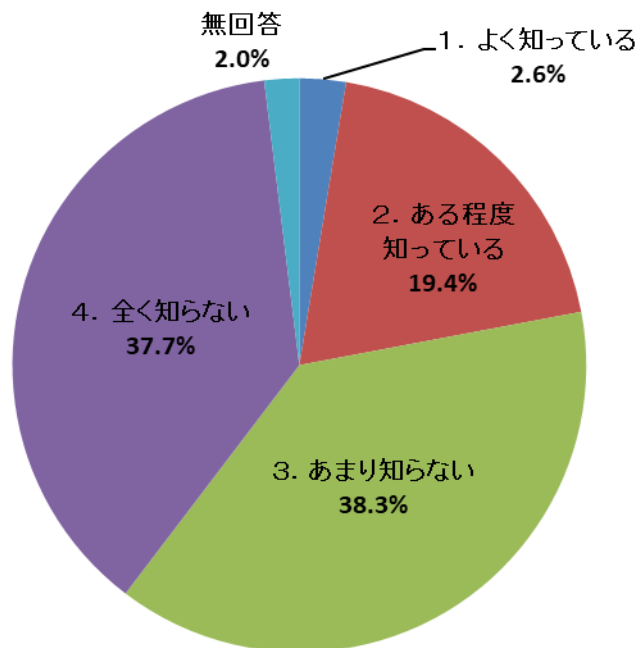
「お濠や楠木等を含めた城内周辺の景観」(14.2%)、「市街地の憩いの場となる多布施川やクリーク等の水辺の景観」(13.1%)、「昔ながらのふるさと感じる佐賀平野や棚田などの田園景観」(12.8%)が上位となっており、市街地(都市的資源)よりも周囲の景観(自然的資源)を重要と考える割合が高くなっている。



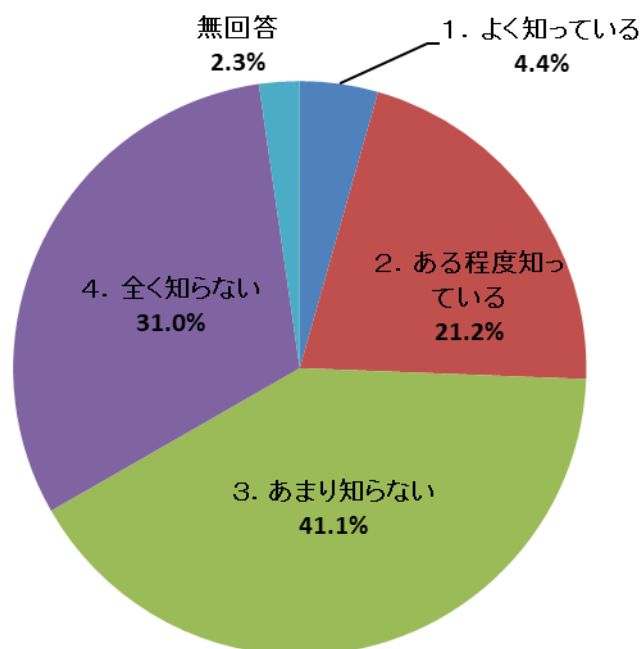
(問 10) 佐賀市では、良好な景観づくりのために、「佐賀市景観計画」に基づいて各施策を実施しています。あなたは、「佐賀市景観計画」について、どの程度ご存知ですか。



(問 11) 佐賀市では、景観に大きな影響を与える大規模な建築物や工作物の新築、新設、増築、改築、移転又は外観の変更を行う場合には、事前に届出が必要です。あなたは、この届出について、どの程度ご存知ですか。



(問 12) 佐賀市ではこれまで、良好な景観づくりに寄与する建物などを表彰する取り組みや景観重要建造物等として指定し、保全を推進する取り組みを実施しております。あなたは、これらの景観賞受賞作品や景観重要建造物等について、どの程度ご存じですか。

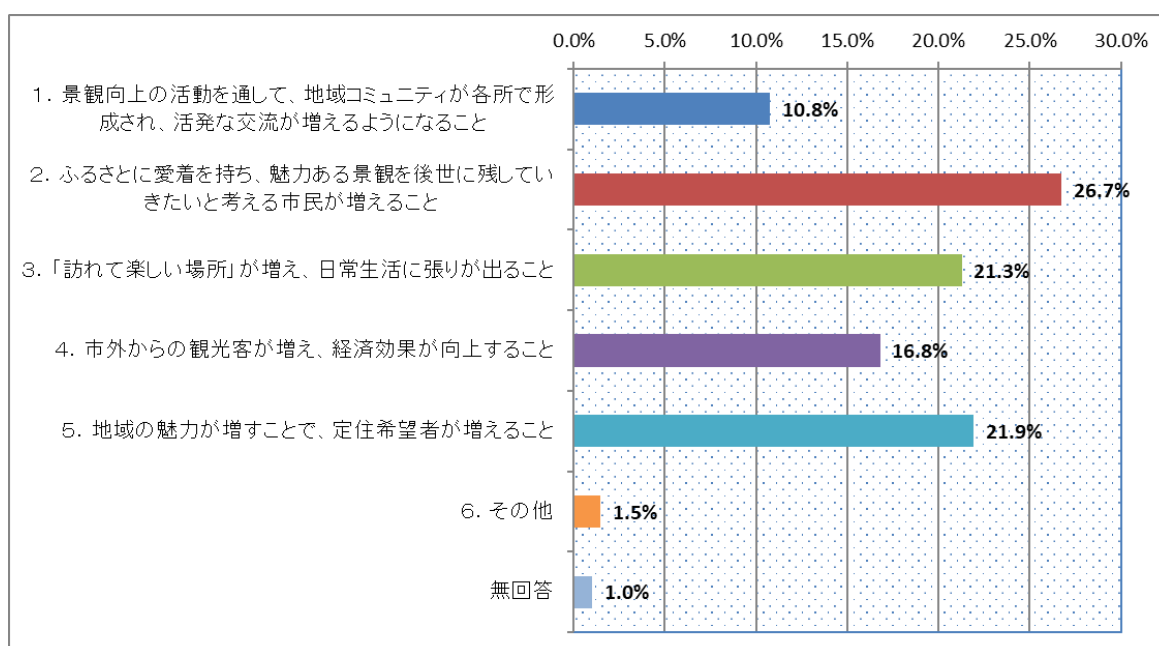


問 10「佐賀市景観計画」、問 11「景観に関する届出制度」、問 12「景観賞・景観重要建造物等」については、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた割合が、それぞれ、83.8%、76.0%、72.1%となっており、景観に関する意識啓発とともに、景観に関する制度等の更なる周知に努めていく必要があることがわかる。

(問 14) 佐賀市の景観が向上することによるメリットとして、あなたが期待することについて、あてはまる番号をすべてお選びください。

1. 景観向上の活動を通して、地域コミュニティが各所で形成され、活発な交流が増えるようになること。
2. ふるさとに愛着を持ち、魅力ある景観を後世に残していきたいと考える市民が増えること。
3. 「訪れて楽しい場所」が増え、日常生活に張りが出ること。
4. 市外からの観光客が増え、経済効果が向上すること。
5. 地域の魅力が増すことで、定住希望者が増えること。
6. その他（具体的な内容をお書きください）

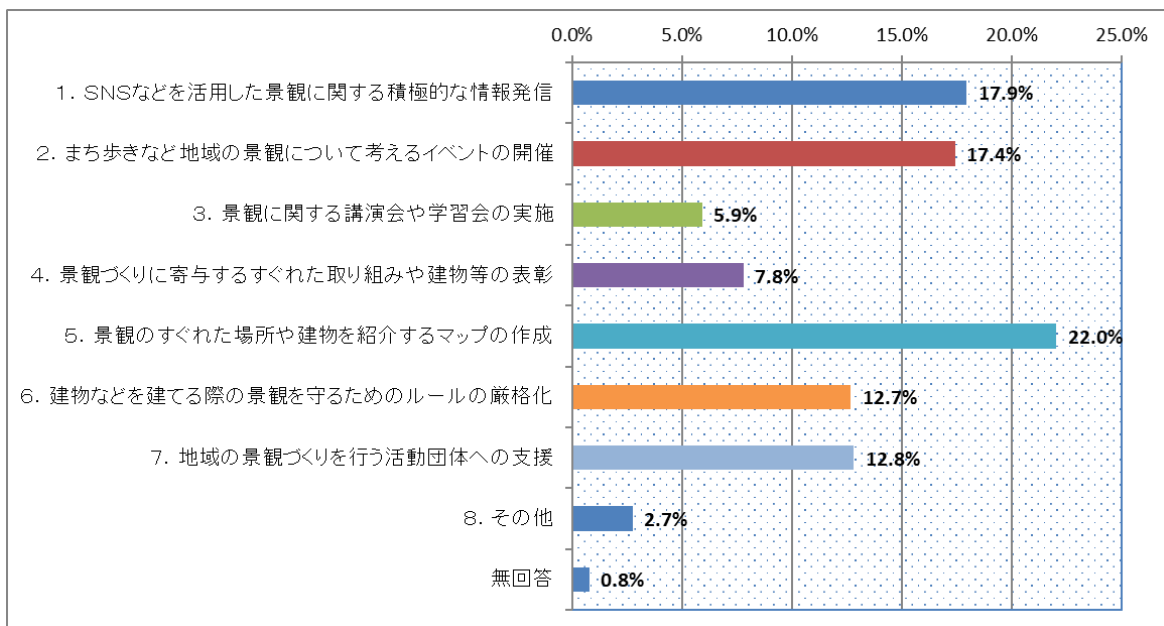
「ふるさとに愛着を持ち、魅力ある景観を後世に残していきたいと考える市民が増えること」(26.7%)の割合が最も高く、次いで、「地域の魅力が増すことで、定住希望者が増えること」(21.9%)、「『訪れて楽しい場所』が増え、日常生活に張りが出ること」(21.3%)が続いている。



(問 15) 佐賀市の景観をより良くするために、どのような取り組みがあるとよいと思いますか。あてはまる番号をすべてお選びください。

1. SNS などを活用した景観に関する積極的な情報発信
2. まち歩きなど地域の景観について考えるイベントの開催
3. 景観に関する講演会や学習会の実施
4. 景観づくりに寄与するすぐれた取り組みや建物等の表彰
5. 景観のすぐれた場所や建物を紹介するマップの作成
6. 建物などを建てる際の景観を守るためのルールの厳格化
7. 地域の景観づくりを行う活動団体への支援（景観アドバイザー等の派遣、広報支援、活動費支援など）
8. その他（具体的な内容をお書きください）

「景観のすぐれた場所や建物を紹介するマップの作成」(22.0%) が突出しており、「SNS などを活用した景観に関する積極的な情報発信」(17.9%)、「まち歩きなど地域の景観について考えるイベントの開催」(17.4%) が続いており、市民が気軽に参加できる取り組みを望む割合が高い傾向となっている。

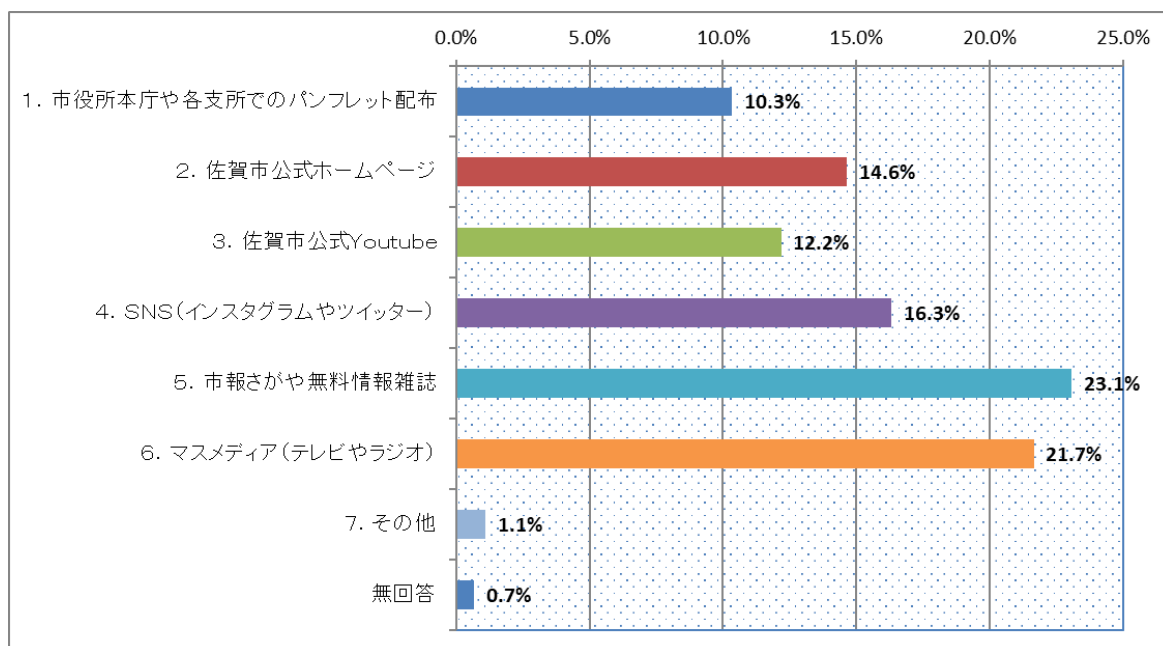


(問 16) 佐賀市における景観への取り組みを紹介する方法として、どのような方法であれば情報を入手しやすいと思いますか。あてはまる番号をすべてお選びください。

1. 市役所本庁や各支所でのパンフレット配布
2. 佐賀市公式ホームページ
3. 佐賀市公式Youtube
4. SNS (インスタグラムやツイッター)
5. 市報さがや無料情報雑誌
6. マスメディア (テレビやラジオ)
7. その他 (具体的な内容をお書きください)

景観に関する情報発信としては、全年代をみると、「市報さがや無料情報雑誌」(23.1%)と「マスメディア (テレビやラジオ)」(21.7%) を求める人の割合が高くなっている。

しかしながら、年代別にみると、若年層にいくにつれて、「SNS (インスタグラムやツイッター)」を求める割合が高い傾向となっている。



●年代別分析 (凡例は同上)

